

社団法人 日本経営工学会
第29期 第4回理事会だより (案)

第29期 理事会の第4回会合が平成20年1月25日(金)14:00~18:00、日本大学経済学部3号館4F会議室にて開催され、理事11名、監事2名、理事代理1名、オブザーバー1名、事務局1名が出席しました。

議事録署名人の選任について、大成 尚氏 八巻直一氏の2名を選任されました。

会員数は平成20年1月25日現在、名誉会員27名、正会員1,546名、学生会員256名、賛助会員31社32口です。

議決事項

1. 第29期第3回理事会議事録・理事会だより報告(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき報告があり、原案が承認されました。
2. 入退会に関する件について(会員)
会員担当理事からの資料に基づき、入退会に関する説明(19名入会、退会11名、結果:正会員5名増、学生会員3名増)がありました。また、今期の復活会員に関して処理した経緯説明がありました。
3. 春恒社契約見直しの件について(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき、春恒社から国際文献印刷社への移行計画案(経過および移行費用案)が提案され、移行に伴う業務移行処理についての説明があり、将来的な学会の事務業務の形も含めて、議論しました。試行期間は2年として、暫定的に業務を精査する「事務担当」を置くこととし、学会OB(前東海大 加藤貞夫氏)に依頼することになりました。とりあえず2007年3月より移行を開始して、2年間(暫定的に)国際文献印刷社へ提案された予算案で業務委託することになりました。

協議事項

1. 会長メモ No.2 について(会長)
経営工学100年の記念行事についての具体的な行事予定と日程(2008-2011年)について提案され、引き続き検討することになりました。また、メイン行事が2010年秋開催予定の学会60周年企画である旨伝えられました。
2. 春季大会の前日の記念行事について(副会長)
2008年5月9日開催の春季大会前日に行う予定の「経営工学100年周期記念行事」の概要と予算について提案され了承されました。
3. IE協会との連携について(国際・渉外)
IE協会「IEレビュー(年6回発行)」と経営システム誌の目次交換することが実現される旨報告があり、今後のIE協会との連携のあり方について提案がなされ了承されました。
4. JIMA主催国際ワークショップ(WS)企画について(国際・渉外)
若手研究者や留学生に対してJIMA主催国際WSを開催する旨の企画提案がなされ了承されました。
5. 日刊工業新聞社を通しての学会PRについて(国際・渉外)
日刊工業新聞社を通じたJIMAのPR企画(大会・シンポジウムの掲載、「工場管理」との目次交換)について提案され了承されました。
6. JIMAエリアエディタ制(案)について(編集)
学会論文誌エリアエディタ制導入に関しての提案の経緯と内容に関しての説明がありました。具体的なエリア候補とエディタ候補者について提案をしてもらうよう依頼し引き続き検討する旨了承されました。
7. JIMA英文誌発行計画について(編集)
JIMA英文誌発行を年2回(年6号から8号発行へ)追加し、媒体を電子化するなどの効率化を図る検討を引き続き行うこと了承されました。
8. JIMA論文投稿区分変更案(編集)
現在学会で規定している論文投稿区分を(4区分から2区分へ)変更したい旨の提案がなされ、引き続き検討することが了承されました。

9. 経営システム誌原稿料の件（編集）
経営システム誌の原稿料を支払うことができないかという提案がなされたが、予算の問題もあり、引き続き検討する旨了承されました。
10. 経営情報学会との目次交換の件（編集）
IE レビューとの連携と同様、経営情報学会普及誌と目次交換をする方向で実現に向け、さらに検討することになりました。
11. 優秀学生賞対象学科の変更について（表彰）
資料に基づいて学科のリストアップと推薦依頼状況の報告がありました。
12. メールマガジン（MG）運用について（庶務）
メールマガジン開設準備に向けた経過報告および運用細則に関して報告があり了承されました。
13. 平成20年度予算案について（財務）
平成20年度予算案に関して資料に基づいて提案がなされ了承されました。
14. 内部留保の改善について（財務）
内部留保が超過している旨が報告され、内部留保を有効に使用することを引き続き検討することになりました。
15. 基金運用細則について（財務）
基金の取崩しに関して、基金運用細則に基づいて対応方法を引き続き検討することになりました。
16. 新公益法人への移行対応[文科省立入実地検査報告]（庶務）
文科省での説明会を受け新公益法人への移行対応について説明がなされ、支部活動を含めた活動の予算策定時の公益性の算出等、引き続き検討する旨了承されました。
17. 公印取扱細則について（庶務）
文科省からの指摘を是正する必要性から、会計細則との整合性を確認することを前提に了承されました。
18. 名誉会員推戴の件（会員）
豊田武彦氏を産業界との連携などの業績があることから名誉会員として推戴することが了承されました。

報告事項

1. 横幹連合 2008 年役員候補依頼について（松井）（資料 4-15-1～2）
2. FMES シンポジウム第 1 回実行委員会議事録（案）（玉木）（資料 4-16）
3. 支部委員会報告（小樽商科大学）（石川）（資料 4-17）
4. 第 29 期第 4 回理事会大会委員会報告（飯島）（資料 4-18）
5. 第 29 期第 4 回理事会国際・渉外委員会報告（中島）（資料 4-19）
6. 掲載料・別冊代請求一覧（曹）（資料 4-20）
7. 日本学術会議ニュース・メール No. 103～No. 113（事務局）（資料 4-21）

※ 次回第 5 回理事会は 平成 20 年 3 月 28 日（金）
会 場：日大経済学部
開催時間：14：00～18：00 の予定です。